

**有効成分シンメチリンを含有する申請農薬の
使用方法及び薬効・薬害試験結果概要**

1. アゴールド EX 乳剤（シンメチリン 75.0 % 乳剤）

（1）使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用 回数	使用方法	シンメチリンを 含む農薬の 総使用回数
			薬量	希釈水量			
つつじ類	一年生 イネ科雑草	生育期但し、 定植後 7 日以 降 (雑草発生前)	150~200 mL/10 a	100~150 L/10 a	1回	樹間・樹冠下 土壌散布	1回

（2）薬効

① にら（施設栽培）

薬効・薬害試験の結果、一年生イネ科雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1：アゴールド EX 乳剤（シンメチリン 75.0 % 乳剤）の薬効・薬害試験（くるめつつじ、さつき、おおむらさき、一年生イネ科雑草）結果概要

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件					結果	
		対象 雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/ 10 a)	希釈 水量 (L/10 a)			
くるめ つつじ	福島 H30	一年生 イネ科雑草	定植 4 年後、 生育期、 雑草発生前	150	100	土壌散布 (樹間・樹 冠下)	無処理区と比 較して十分な 効果が認めら れた。	薬害は認め られな かった。
				150	150			
				200	100			
さつき	栃木 H30	一年生 イネ科雑草	定植 35 年後、 生育期、 雑草発生前	150	100	土壌散布 (樹間・樹 冠下)	無処理区と比 較して十分な 効果が認めら れた。	薬害は認め られな かった。
				150	150			
				200	100			
おおむ らさき	東京 H30	一年生 イネ科雑草	定植 1 か月 後、 生育期、 雑草発生前	150	100	土壌散布 (樹間・樹 冠下)	無処理区と比 較して十分な 効果が認めら れた。	薬害は認め られな かった。
				150	150			
				200	100			
さつき	三重 H30	一年生 イネ科雑草	定植 6 日後、 生育期、 雑草発生前	150	100	土壌散布 (樹間・樹 冠下)	無処理区と比 較して十分な 効果が認めら れた。	薬害は認め られな かった。
				150	150			
				200	100			

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件					結果	
		対象 雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/ 10 a)	希釈 水量 (L/10 a)			
くるめ つつじ	千葉 H30	一年生 イ科雑草	定植 1 年 8 か 月後、 生育期、 雑草発生前	150	100	土壌散布 (樹間・樹 冠下)	無処理区と比 較して十分な 効果が認めら れた。	薬害は認 められな かった。
				150	150			
				200	100			
さつき	三重 H30	一年生 イ科雑草	定植 7 年後、 生育期、 雑草発生前	150	100	土壌散布 (樹間・樹 冠下)	無処理区と比 較して十分な 効果が認めら れた。	薬害は認 められな かった。
				150	150			
				200	100			

(3) 薬害

① 対象作物への薬害

表 1 に示した薬効・薬害試験の結果、薬害は認められなかった。

薬害試験の結果、さつき、おおむらさきに対して薬害は認められなかった。

以上から、申請作物に対する薬害について問題がないことを確認した。

表 2：アゴールド EX 乳剤（シンメチリン 75.0 %乳剤）を用いた薬害試験結果概要

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件				結果
		使用時期	使用量		使用方法	
			薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)		
さつき	茨城 H29	定植 9 年後	400	100	土壌散布 (樹間・樹冠下)	薬害は認められな かった。
おおむらさき	東京 H29	定植 6 か月後	400	100	土壌散布 (樹間・樹冠下)	薬害は認められな かった。
おおむらさき	茨城 R1	定植 11 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
おおむらさき	茨城 R1	定植 11 年後	1000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
さつき	山口 R1	定植 10 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
さつき	山口 R1	定植 10 年後	1000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。

② 対象作物以外の作物への薬害

薬害試験の結果、きゅうり及びかぶにおいて実用上問題となる薬害が認められた。

以上のことから、適用作物の周辺で栽培される作物に対する薬害を回避するため、使用上の注意事項を付す必要があると判断した。

表3：アゴールド EX 乳剤（シンメチリン 75.0 %乳剤）を用いた薬害試験結果概要

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件				結果
		使用時期	使用量		使用方法	
			薬量 (mL/10a)	希釈水量 (L/10a)		
このてがしわ	茨城 R1	定植 5 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
さざんか	茨城 R1	定植 12 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
れんぎょう	茨城 R1	定植 12 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
かなめもち	茨城 R1	定植 12 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
このてがしわ	茨城 R1	定植 5 年後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
さざんか	茨城 R1	定植 12 年後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
れんぎょう	茨城 R1	定植 12 年後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
かなめもち	茨城 R1	定植 12 年後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
やまもも	山口 R1	定植 10 年以上後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
かなめもち	山口 R1	定植 10 年後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
アベリア	山口 R1	定植 10 年以上後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
いぬつげ	山口 R1	定植 10 年以上後	500	200	茎葉散布	薬害は認められな かった。
やまもも	山口 R1	定植 10 年以上後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
かなめもち	山口 R1	定植 10 年後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
アベリア	山口 R1	定植 10 年以上後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
いぬつげ	山口 R1	定植 10 年以上後	1,000	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
トマト	茨城 R1	5 葉期、30cm	500	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
			1,000	300		
きゅうり	茨城 R1	4 葉期、20cm	500	300	土壌散布	葉枯れ、生育抑制 の薬害が認められ た。
			1,000	300		
かぶ	茨城 R1	3 葉期、10cm	500	300	土壌散布	淡黄化、生育抑制 の薬害が認められ た。
			1,000	300		

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件			結果	
		使用時期	使用量			使用方法
			薬量 (mL/10a)	希釈水量 (L/10a)		
			1,000	300		
飼料用とうも ろこし	茨城 R1	5 葉期、50cm	500	300	土壌散布	薬害は認められな かった。
			1,000	300		